

学校教育目標	○人との関わりを大切にします。(徳、公) 様々な活動、体験を通して周りの人への理解と協力の大切さを知り、集団へ貢献することの喜びを実感し、豊かな人間性を身につけられるよう支援します。 ○生きるための学びを大切にします。(知、開) 学ぶ楽しさと創り出す喜びを実感しながら基礎・基本を習得し、それを活用して表現する能力を身につけられるよう支援します。 ○心と命を大切にします。(徳、体) 自他の生命を尊重し、健やかな心とからだをもち、粘り強さと望ましい生活習慣を身につけられるよう支援します。				
	創立 38 周年 児童生徒数: 535 人	学校長 木村 典明 主な関係校: 釜利谷小、釜利谷南小、高舟台小、六浦小	副校長 辰野 経	3 学期制	一般学級: 15 個別支援学級: 4

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力 <生きる力> <表現力> <コミュニケーション能力>	釜利谷中 ブロック 釜利谷中 釜利谷小 釜利谷南小 高舟台小	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組 人とのかかわりを大切にし、集団の中で、 お互い認め合い、高め合おうとする子ども ○“人とのかかわり”“生きるための学び”“心と命”を大切にした指導を、全校の教育活動で具現化するように相互の情報交換を充実させ、意図的な場面設定を図る。 ○生徒の実態を把握して、「育成を目指す資質・能力」、「重点的取組分野」等に関する共通理解の推進を図る。 ○小中連携をさらに推進させて、小中合同授業研究会の開催や児童生徒交流日の充実を図る。 ○地域連携をさらに推進させて、地域行事や地域防災拠点訓練への積極的参加を図る。
--	---	---

中期取組目標	教育課程全体で ○三つの柱「何を理解しているか、何ができるか」「理解していること・できることをどう使うか」「どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか」を意識した授業づくりによって、生徒の「生きる力」を育てます。 ○特に、考え、思い、感情などを表現するために、言語だけではなく、演奏、絵画、造形などの芸術的な表現方法や身体的な表現方法など個々の興味や関心にあった方法で豊かに表出することができる能力を育てます。 ○さらに、いろいろな価値観をもつ人による集団において、人間関係やチームワークを大切にし、正解のない課題や経験したことのない問題について、自ら深く考え、相互に考えを伝え、深め合いつつ、課題解決できる能力を育てます。
--------	---

重点取組分野	具体的取組
知 「生きるための学び」を大切にした教育 担当 学習道徳指導部	①育成する資質・能力を明確にもって指導し、学ぶ楽しさや創造する喜びを実感できる生徒の育成を目指します。 ②言語能力や非言語能力を活用し、創造的思考、感性・情緒、他者とのコミュニケーションにおいて自分のことを豊かに表現できる生徒の育成を目指します。
徳 「心」を大切にした教育 担当 学習道徳指導部	①全ての教育活動において、「相互理解・寛容」「思いやり、感謝」を重点として、それぞれの個性や立場を尊重できる生徒、思いやりの心をもって人と接することができる生徒の育成を目指します。 ②挨拶運動等を実施し、礼儀の意義を理解し、時と場に応じた適切な言動ができる生徒の育成を目指します。
体 「命」を大切にした教育 担当 保健安全指導部	①「いのちの授業」を実施し、生命の連続性・有限性を理解し、自他の生命を尊重する生徒の育成を目指します。 ②外部機関等の教育資源等を活用した授業を実施し、健康や食事の大切さを理解して、心身の健康の増進を図ることができる生徒の育成を目指します。
公開 「人とのかかわり」を大切にした教育 担当 特活指導部	①社会参画の意識と社会連帯の自覚を高め、よりよい社会の実現に努めようとする生徒の育成を目指します。 ②生徒会総会や委員会活動を通して、協力し合っより良い校風をつくり、集団の中での自分の役割と責任を自覚して集団生活の充実に努めようとする生徒の育成を目指します。
いじめへの対応 担当 いじめ防止対策委員会	①いじめ防止研修を実施し、全教職員の感度を高くすることにより、早期発見・早期対応に努めます。 ②誰もが安心して豊かに生活できるように、教育相談や生徒への声かけなどによって生徒の心情に寄り添った支援をします。
人材育成・組織運営(働き方) 担当 研究部連携・研修係	①OJTとメンターチームが効果的に機能するようにし、経験の浅い教員に成長意識を高く持たせ、自身で考え行動するような自主的・自立的な教員となれるようサポートします。 ②教職員のアイデアによるベビーステップを積み上げることによって、持続可能な職場環境を整備します。
地域学校共同活動 担当 学校運営協議会	①学校運営協議会を設置し、地域・保護者と学校が目標を共有して、地域の人・もの・環境を生徒の学び、育ちに活かします。 ②おやじの会やPTAと連携し、四季折々の行事に地域の人に参加してもらい、教育活動への理解を求めます。
特別支援教育 担当 特別支援教育推進委員会	①特別支援教育コーディネーターを中心に校内と福祉・医療等の関係機関との連絡調整を行い、教育的支援を行う人・機関との連携協力体制を強化します。 ②個々の教育的ニーズを把握し、資質・能力を高めて生活や学習の向上を図るための適切な支援を行います。
生徒指導 担当 生徒指導部	①生徒の心情に寄り添い、個に応じた温かみのある指導ができるよう、平素から生徒と共有する時間を確保し、教職員と生徒との人間関係づくりに努めます。 ②登校に困難さを感じる生徒やその保護者の理解に努め、個々の能力に合った支援を探求します。
ESD 担当 研究部総合係	①総合的な学習の時間を軸として、SDGsの17の目標とのつながりをもたせた教育活動を実施し、持続可能な社会づくりの素地となる意識の向上に努めます。 ②持続可能な社会づくりのために必要な能力のうち、特に「コミュニケーションを行う力」の育成に努めます。